



## 2025年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月13日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社タカチホ  
コード番号 8225 URL <https://kk-takachiho.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保田 一臣  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 寺島 千博 TEL 026-221-6677  
定時株主総会開催予定日 2025年6月26日 配当支払開始予定日 2025年6月27日  
有価証券報告書提出予定日 2025年6月27日  
決算補足説明資料作成の有無： 無  
決算説明会開催の有無： 有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期の連結業績（2024年4月1日～2025年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	8,536	6.5	437	△0.5	436	△0.9	308	△27.1
2024年3月期	8,015	9.3	439	33.4	440	34.4	423	△8.0

(注) 包括利益 2025年3月期 309百万円 (△28.7%) 2024年3月期 433百万円 (△6.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	477.76	—	15.2	10.2	5.1
2024年3月期	660.62	—	26.5	10.5	5.5

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 ー百万円 2024年3月期 ー百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	4,288	2,253	52.6	3,238.76
2024年3月期	4,263	1,820	42.7	2,832.71

(参考) 自己資本 2025年3月期 2,253百万円 2024年3月期 1,820百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	376	△62	△218	929
2024年3月期	333	△36	△365	834

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00	25	6.1	1.6
2025年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00	34	10.5	1.6
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	80.00	80.00		17.7	

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,200	7.8	460	5.2	450	3.1	315	2.1	452.64

（注）当社では年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）期中における連結範囲の重要な変更： 無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年3月期	727,500株	2024年3月期	727,500株
2025年3月期	31,582株	2024年3月期	84,876株
2025年3月期	646,024株	2024年3月期	640,705株

（参考）個別業績の概要

1. 2025年3月期の個別業績（2024年4月1日～2025年3月31日）

（1）個別経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	7,780	5.2	429	△2.0	432	△2.3	308	△28.0
2024年3月期	7,395	9.4	438	28.5	442	28.5	428	△6.8

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期	477.40	—
2024年3月期	668.36	—

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	4,406	2,279	51.7	3,275.02
2024年3月期	4,360	1,845	42.3	2,872.34

（参考）自己資本 2025年3月期 2,279百万円 2024年3月期 1,845百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する重要事象等) .....	14
(会計方針の変更) .....	14
(追加情報) .....	14
(連結貸借対照表に関する注記) .....	15
(連結損益計算書に関する注記) .....	15
(セグメント情報等の注記) .....	16
(1株当たり情報) .....	20
(重要な後発事象) .....	20
4. その他 .....	20
(1) 役員の変動 .....	20

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善による個人消費の拡大、インバウンド需要の拡大が続き、景気は緩やかな回復傾向が継続しました。

一方で、観光事業における慢性的な労働力不足や人的コストの上昇、また物価上昇による資源価格及び原材料価格の高騰、節約志向と消費マインドの冷え込み、米国の相互関税による景気動向への影響など、先行きが不透明な状況も続いております。

このような経済情勢のなかで当社グループといたしましては、「企業価値の向上 企業価値を意識した業務推進」をスローガンに掲げ、生産性向上のための人的投資、機会を捉えた商品供給による販売強化と商品開発への投資、業務の効率化による収益力強化に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は8,536百万円（前年同期比6.5%増）、営業利益は437百万円（前年同期比0.5%減）、経常利益は436百万円（前年同期比0.9%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は308百万円（前年同期比27.1%減）となりました。

セグメント別業績は次のとおりであります。

#### ①みやげ卸売事業

みやげ卸売事業は、開発商品の拡充をはかり積極的な商品展開を行った他、観光需要の緩やかな増加と暖冬の影響を受け受注が増加し、みやげ事業の開発人員をみやげ卸売事業に集約したことによる費用増を吸収でき、売上高は6,616百万円（前年同期比9.1%増）となり、営業利益は561百万円（前年同期比2.5%増）となりました。

#### ②みやげ小売事業

みやげ小売事業は、一部店舗の賃借契約満了による閉店の影響はありましたが、観光需要の緩やかな増加を受け、旬粋事業においてブランドガイドラインの見直しを実施した他、オリジナル新商品の導入に注力したこと及び開発部門を卸売事業へ統合したことにより、売上高は800百万円（前年同期比5.6%減）となり、営業利益は70百万円（前年同期比116.5%増）となりました。

#### ③みやげ製造事業

みやげ製造事業は、観光需要の緩やかな増加と暖冬の影響及び新商品の投入や既存商品の規格変更及び価格変更等リニューアルを進めたことにより、売上高は219百万円（前年同期比38.8%増）となり、営業利益は39百万円（前年同期比51.7%増）となりました。

#### ④温浴施設事業

温浴施設事業は、サウナ人気を意識した熱波イベントの実施、飲食及び付帯設備の拡充により来客数が増加しましたが、資源価格の上昇による運営費増加により、売上高は317百万円（前年同期比3.2%増）となり、営業利益は49百万円（前年同期比13.1%減）となりました。

#### ⑤不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、長野市内の「ショッピングタウンあおぞら」のテナント管理を中心に営んでおります。景気の緩やかな回復が継続しましたがテナントの入れ替えによる一部空室と修繕費用が高み、賃料収入は148百万円（前年同期比0.2%減）となり、営業利益は49百万円（前年同期比6.9%減）となりました。

#### ⑥アウトドア用品事業

アウトドア用品事業は、ポイントカードのデジタル移行及び積極的なイベント出展による会員増強を実施し来店客数の増加を図ったものの、一部店舗が賃借契約満了により閉店したほか、テントなどの高額商品を中心に需要減退が続いており、売上高は385百万円（前年同期比11.7%減）となり、営業損益は26百万円の営業損失（前年同期は15百万円の営業損失）となりました。

#### ⑦その他事業

その他事業は、飲食店の運営が含まれます。物価上昇による節約志向を受けメニューの見直し等を行いました。が、原材料価格の上昇により、売上高は48百万円（前年同期比5.8%減）となり、営業利益は1百万円（前年同期比66.5%減）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### 資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末における総資産は、流動資産の増加等により、4,288百万円となりました。

流動資産の主な内訳は、現金及び預金929百万円、売掛金674百万円、商品及び製品436百万円であります。

固定資産の主な内訳は、有形固定資産1,522百万円、投資その他の資産427百万円であります。

流動負債の主な内訳は、1年内返済予定の長期借入金257百万円、支払手形及び買掛金421百万円であります。

固定負債の主な内訳は、長期借入金717百万円、長期預り保証金195百万円であります。

純資産の主な内訳は、資本金1,000百万円及び資本剰余金747百万円、利益剰余金553百万円及び自己株式△62百万円であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の期末残高は929百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、376百万円となりました。これは主に税金等調整前当期純利益435百万円、法人税等の支払70百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、62百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は、218百万円となりました。これは主に自己株式の売却による収入136百万円、長期借入金の返済による支出330百万円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期
自己資本比率 (%)	27.5	24.9	33.0	42.7	52.6
時価ベースの自己資本比率 (%)	21.3	23.3	25.7	37.7	47.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	—	—	4.3	3.9	2.6
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	—	36.1	37.2	52.3

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

2. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

3. 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、雇用・所得環境の改善による個人消費の拡大、インバウンド需要の拡大が続く、景気は緩やかな回復傾向が継続しつつも物価上昇による資源価格及び原材料価格の高騰、節約志向と消費マインドの冷え込み、米国の相互関税による景気動向への影響など、先行きの予測は難しい状況にありますが、当社グループでは「革新－変革に向けた事業再構築－」を年度スローガンとして新たな価値創造・業務効率化と生産性の向上・意識改革・業務改善を実行し組織体制の強化を図ります。

当社グループはレジャー産業を基軸とした総合商社として、戦略的な顧客管理と戦略商品の企画開発による市場シェアの拡大を図るとともに、安定顧客の維持及び新規顧客・店舗の開拓と発掘を実践するため成長分野、高収益部門への積極的な経営資源の投入を進めます。

営業施策といたしましては、観光みやげ品事業での新規業務による更なる収益拡大を目指すとともに、有望市場への新規開拓を推進し、新規顧客開拓、新規出店戦略による売上確保を進めます。

また、販売・サービス部門におきましては地域一番店を目指し、地域ユーザーに密着したイベントの情報発信・開催等を行い、接客・サービスの向上による安定顧客の維持及び新規客層の発掘を行います。

翌連結会計年度（2026年3月期）の連結業績見通しにつきましては、売上高9,200百万円、営業利益460百万円、経常利益450百万円、親会社株主に帰属する当期純利益315百万円を見込んでおります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

(5) 利益分配に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要施策のひとつとして位置付け、収益力の向上並びに財務体質の強化を通じ、連結配当性向30%を目指し安定的かつ着実な配当の実施を基本方針としております。

当期末の配当金につきましては、当連結会計年度の業績結果を鑑み、1株当たり50円を予定しております。

次期(2026年3月期)の配当金につきましては、当社の利益配分に関する基本方針、財政状況及び通期業績見通し等を勘案し、1株につき期末配当金80円を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	834,674	929,651
受取手形	41,442	40,307
売掛金	655,683	674,598
商品及び製品	430,731	436,536
原材料及び貯蔵品	43,113	52,557
その他	33,377	59,054
貸倒引当金	△1,249	△1,241
流動資産合計	2,037,774	2,191,464
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,089,195	3,033,822
減価償却累計額	△2,521,144	△2,496,047
建物及び構築物(純額)	568,051	537,774
機械装置及び運搬具	297,420	298,720
減価償却累計額	△258,680	△266,889
機械装置及び運搬具(純額)	38,740	31,831
工具、器具及び備品	234,167	240,460
減価償却累計額	△195,067	△190,541
工具、器具及び備品(純額)	39,100	49,919
土地	902,820	902,820
有形固定資産合計	1,548,712	1,522,345
無形固定資産		
ソフトウェア	10,975	47,219
ソフトウェア仮勘定	58,966	—
その他	99,943	99,863
無形固定資産合計	169,885	147,082
投資その他の資産		
投資有価証券	54,543	54,477
敷金及び保証金	113,386	92,189
繰延税金資産	295,147	237,713
その他	53,716	52,364
貸倒引当金	△10,018	△9,036
投資その他の資産合計	506,775	427,707
固定資産合計	2,225,372	2,097,135
資産合計	4,263,147	4,288,600

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	395,168	421,022
1年内返済予定の長期借入金	327,116	257,244
未払法人税等	46,383	46,730
未払金	120,561	59,682
未払費用	69,046	65,995
賞与引当金	51,629	55,318
契約負債	13,308	13,346
その他	127,763	93,302
流動負債合計	1,150,978	1,012,643
固定負債		
長期借入金	976,912	717,069
資産除去債務	96,162	97,545
長期預り保証金	205,076	195,581
その他	13,650	11,850
固定負債合計	1,291,801	1,022,045
負債合計	2,442,779	2,034,688
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	701,882	747,563
利益剰余金	270,550	553,491
自己株式	△166,409	△62,002
株主資本合計	1,806,023	2,239,052
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,343	14,858
その他の包括利益累計額合計	14,343	14,858
純資産合計	1,820,367	2,253,911
負債純資産合計	4,263,147	4,288,600

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	8,015,726	8,536,884
売上原価	5,780,070	6,146,884
売上総利益	2,235,656	2,390,000
販売費及び一般管理費		
販売手数料	131,882	159,483
荷造運搬費	56,879	61,681
貸倒引当金繰入額	192	△989
広告宣伝費	26,687	30,365
役員報酬	76,300	88,165
給与賞与	690,237	723,147
賞与引当金繰入額	47,706	50,680
株式報酬費用	11,674	13,747
退職給付費用	16,510	16,909
福利厚生費	126,857	137,852
賃借料	199,211	205,890
修繕費	25,745	19,084
消耗品費	62,771	100,787
水道光熱費	46,966	48,734
旅費及び交通費	28,484	30,631
租税公課	39,439	39,749
減価償却費	35,641	33,789
その他	173,220	193,185
販売費及び一般管理費合計	1,796,409	1,952,897
営業利益	439,247	437,102
営業外収益		
受取利息	53	179
受取配当金	702	983
受取事務手数料	1,056	539
受取手数料	5,235	4,758
その他	4,007	3,560
営業外収益合計	11,054	10,022
営業外費用		
支払利息	8,969	7,202
自己株式処分費用	0	2,916
その他	821	493
営業外費用合計	9,790	10,612
経常利益	440,511	436,512

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
特別利益		
助成金収入	231	348
特別利益合計	231	348
特別損失		
固定資産除却損	85	80
減損損失	9,796	—
関係会社清算損	1,041	812
会員権評価損	2,000	—
特別損失合計	12,923	892
税金等調整前当期純利益	427,819	435,967
法人税、住民税及び事業税	69,759	70,396
法人税等調整額	△65,203	56,925
法人税等合計	4,556	127,321
当期純利益	423,262	308,645
親会社株主に帰属する当期純利益	423,262	308,645

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益	423,262	308,645
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,062	514
その他の包括利益	10,062	514
包括利益	433,325	309,160
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	433,325	309,160

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,000,000	701,711	△152,711	△179,140	1,369,858
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			423,262		423,262
自己株式の取得				△168	△168
自己株式の処分		171		12,899	13,070
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	171	423,262	12,731	436,164
当期末残高	1,000,000	701,882	270,550	△166,409	1,806,023

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	4,281	4,281	1,374,140
当期変動額			
親会社株主に帰属する当期純利益			423,262
自己株式の取得			△168
自己株式の処分			13,070
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	10,062	10,062	10,062
当期変動額合計	10,062	10,062	446,227
当期末残高	14,343	14,343	1,820,367

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,000,000	701,882	270,550	△166,409	1,806,023
当期変動額					
剰余金の配当			△25,704		△25,704
親会社株主に帰属する当期純利益			308,645		308,645
自己株式の取得				△393	△393
自己株式の処分		45,681		104,800	150,481
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	45,681	282,940	104,406	433,029
当期末残高	1,000,000	747,563	553,491	△62,002	2,239,052

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	14,343	14,343	1,820,367
当期変動額			
剰余金の配当			△25,704
親会社株主に帰属する当期純利益			308,645
自己株式の取得			△393
自己株式の処分			150,481
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	514	514	514
当期変動額合計	514	514	433,544
当期末残高	14,858	14,858	2,253,911

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	427,819	435,967
減価償却費	85,016	83,209
減損損失	9,796	—
固定資産除却損	85	80
子会社清算損	1,041	812
会員権評価損	2,000	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,307	△989
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,666	3,688
契約負債の増減額 (△は減少)	△323	37
受取利息及び受取配当金	△755	△1,163
支払利息	8,969	7,202
助成金収入	△231	△348
売上債権の増減額 (△は増加)	△46,107	△17,780
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△41,151	△15,248
営業保証金の増減額 (△は減少)	4,100	—
仕入債務の増減額 (△は減少)	△10,202	25,854
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△24,688	△7,860
前受金の増減額 (△は減少)	△2,248	△279
その他の資産の増減額 (△は増加)	△3,640	△24,255
その他の負債の増減額 (△は減少)	14,129	△48,691
その他	13,511	12,445
小計	441,479	452,682
利息及び配当金の受取額	723	1,190
利息の支払額	△8,899	△7,092
法人税等の支払額	△100,107	△70,759
法人税等の還付額	—	424
助成金の受取額	231	348
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>333,426</b>	<b>376,793</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,000	—
定期預金の払戻による収入	12,000	—
投資有価証券の取得による支出	—	△1,910
有形固定資産の取得による支出	△47,350	△52,658
無形固定資産の取得による支出	△6,044	△37,242
子会社の清算による収入	7,894	2,170
敷金及び保証金の差入による支出	△1,613	△392
敷金及び保証金の回収による収入	—	27,124
その他の投資の回収による収入	—	—
その他	—	—
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△36,113</b>	<b>△62,907</b>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	1,950,000	2,300,000
短期借入金の返済による支出	△1,950,000	△2,300,000
長期借入れによる収入	2,288	1,150
長期借入金の返済による支出	△367,162	△330,865
自己株式の売却による収入	—	136,600
自己株式の取得による支出	△168	△393
配当金の支払額	△121	△25,400
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△365,163</b>	<b>△218,909</b>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△67,849	94,977
現金及び現金同等物の期首残高	902,524	834,674
現金及び現金同等物の期末残高	834,674	929,651

(5) 連結財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する重要事象等)  
該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日 企業会計基準委員会)、  
「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日 企業会計基準委員会)及び  
「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日 企業会計基準委員会)  
を当連結会計年度の期首から適用しております。なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(連結貸借対照表に関する注記)

※1 非連結子会社及び関連会社に対するものは、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
投資有価証券(株式)	9,000千円	6,000千円

※2 担保資産及び担保付債務

担保に供している資産は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
建物及び構築物	506,564千円	482,765千円
土地	782,781千円	782,781千円
計	1,289,345千円	1,265,546千円

担保付債務は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
1年内返済予定の長期借入金	327,116千円	257,244千円
長期借入金	967,717千円	710,473千円
計	1,294,833千円	967,717千円

※3 過年度に取得した資産のうち、国庫補助金による圧縮記帳額は42,223千円であり、連結貸借対照表計上額はこの圧縮記帳額を控除しております。

なお、その内訳は土地42,223千円であります。

※4 期末日満期手形

期末日手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、前連結会計年度末日が金融機関休日であったため、次の期末日満期手形が期末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
受取手形	2,705千円	一千円

(連結損益計算書に関する注記)

※1 顧客との契約から生じる収益

売上高については、顧客との契約から生じる収益及びそれ以外の収益を区分して記載しておりません。顧客との契約から生じる収益の金額は、連結財務諸表「注記事項(収益認識関係)1. 収益の分解情報」に記載しております。

※2 固定資産除却損の内容は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
建物及び構築物	85千円	一千円
その他	0	80
計	85	80

※3 期末棚卸高は収益性の低下に伴う簿価切下後の金額であり、次の棚卸資産評価損が売上原価に含まれております。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
棚卸資産評価損	3,202千円	3,808千円

(セグメント情報等の注記)

**【セグメント情報】**

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、商品・サービス別に包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しており、「みやげ卸売事業」、「みやげ小売事業」、「みやげ製造事業」、「温泉施設事業」、「不動産賃貸事業」、「アウトドア用品事業」の6つを報告セグメントとしております。

「みやげ卸売事業」は、ホテル等宿泊施設の他、J R 駅・高速 S A のみやげ販売店等に卸売を行っており、「みやげ小売事業」は、観光地等の当社の直営店にてみやげ品の販売を行っております。

「みやげ製造事業」は、みやげ用食品の製造を行っております。

「温泉施設事業」は、長野市でスーパー銭湯の施設を運営しており、「不動産賃貸事業」は、長野市で商業施設を運営しております。

「アウトドア用品事業」は、長野県下の直営店にてアウトドア用品の販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度（自2023年4月1日 至2024年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務 諸表計上 額(注) 3
	みやげ 卸売事業	みやげ 小売事業	みやげ 製造事業	温浴施設 事業	不動産 賃貸事業	アウトドア 用品事業	計				
売上高											
顧客との契約か ら生じる収益	6,064,913	848,488	158,004	307,962	—	436,191	7,815,560	51,448	7,867,008	—	7,867,008
その他の収益	—	—	—	—	148,717	—	148,717	—	148,717	—	148,717
外部顧客への 売上高	6,064,913	848,488	158,004	307,962	148,717	436,191	7,964,278	51,448	8,015,726	—	8,015,726
セグメント間の 内部売上高又は 振高	64,967	—	227,158	—	28,800	—	320,925	163,618	484,543	△484,543	—
計	6,129,880	848,488	385,162	307,962	177,517	436,191	8,285,203	215,066	8,500,270	△484,543	8,015,726
セグメント利益又 は損失 (△)	547,860	32,364	25,816	57,410	53,433	△15,802	701,083	3,260	704,344	△265,096	439,247
セグメント資産	1,158,010	130,758	134,924	93,719	669,345	230,195	2,416,954	147,654	2,564,608	1,698,538	4,263,147
その他の項目											
減価償却費	7,778	3,160	13,930	9,977	26,350	2,799	63,996	309	64,306	20,710	85,016
有形固定資産及 び無形固定資産 の増加額	8,308	5,370	9,438	6,050	10,700	7,823	47,691	767	48,458	7,470	55,928

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業等を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下の通りであります。

- (1) セグメント利益又は損失 (△) の調整額△265,096千円は、セグメント間取引消去額2,123千円及び各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用△267,220千円であります。
- (2) セグメント資産の調整額1,698,538千円は、セグメント間取引消去額△9,975千円及び各報告セグメントに配分していない全社資産1,708,514千円であります。
- (3) 減価償却費の調整額20,710千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額7,470千円は、各セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自2024年4月1日 至2025年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務 諸表計上 額(注) 3
	みやげ 卸売事業	みやげ 小売事業	みやげ 製造事業	温浴施設 事業	不動産 賃貸事業	アウトドア 用品事業	計				
売上高											
顧客との契約か ら生じる収益	6,616,735	800,798	219,276	317,971	—	385,270	8,340,053	48,472	8,388,525	—	8,388,525
その他の収益	—	—	—	—	148,359	—	148,359	—	148,359	—	148,359
外部顧客への 売上高	6,616,735	800,798	219,276	317,971	148,359	385,270	8,488,412	48,472	8,536,884	—	8,536,884
セグメント間の 内部売上高又は 振高	65,882	—	253,224	—	28,800	—	347,906	149,148	497,055	△497,055	—
計	6,682,618	800,798	472,501	317,971	177,159	385,270	8,836,319	197,621	9,033,940	△497,055	8,536,884
セグメント利益又 は損失 (△)	561,704	70,057	39,160	49,875	49,768	△26,550	744,016	1,091	745,107	△308,005	437,102
セグメント資産	1,297,349	81,202	149,920	85,198	657,703	171,344	2,442,720	128,111	2,570,831	1,717,768	4,288,600
その他の項目											
減価償却費	10,054	2,413	13,503	10,270	25,629	823	62,696	337	63,034	20,120	83,154
有形固定資産及 び無形固定資産 の増加額	62,706	1,346	5,913	3,262	15,367	—	88,594	—	88,594	4,492	93,087

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業等を含んでおります。
2. 調整額の内容は以下の通りであります。
- (1) セグメント利益又は損失 (△) の調整額△308,005千円は、セグメント間取引消去額2,154千円及び各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用△310,159千円であります。
  - (2) セグメント資産の調整額1,717,768千円は、セグメント間取引消去額△8,167千円及び各報告セグメントに配分していない全社資産1,725,936千円であります。
  - (3) 減価償却費の調整額20,120千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。
  - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額4,492千円は、各セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。
3. セグメント利益又は損失 (△) は、営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の開示をしているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の開示をしているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

(単位：千円)

	みやげ卸 売事業	みやげ小売 事業	みやげ製造 事業	温浴施設事業	不動産賃貸 事業	アウトドア 用品事業	計	その他	合計	調整額	連結財務諸表 計上額
減損損失	-	-	-	-	-	9,796	9,796	-	9,796	-	9,796

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：千円)

	みやげ卸 売事業	みやげ小売 事業	みやげ製造 事業	温浴施設事業	不動産賃貸 事業	アウトドア 用品事業	計	その他	合計	調整額	連結財務諸表 計上額
減損損失	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	2,832.71円	3,238.76円
1株当たり当期純利益	660.62円	477.76円

(注) 1. 前連結会計年度及び当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	423,262	308,645
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	423,262	308,645
期中平均株式数（千株）	640	646

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

4. その他

（1）役員の変動

①代表取締役の変動

該当事項はありません。

②その他の役員の変動

・退任予定取締役

取締役 寺澤 和宏